

地域・社会とともに

1995年から本格的に始まった社会貢献活動。「全社員が年に1回はボランティアに参加する」を合言葉に、社員が自主的に参加しやすいようにボランティア担当者が案内をしています。また、地域との関わりを深めるために、本社や各事業拠点がある地域のイベントなどにも参加させていただいています。

ワタミグループ社員一人ひとりが行う社会貢献

ワタミグループは、社会的使命(責任)を果たすためにも、「良き企業市民」として社会とともに生きる企業を目指し、グループをあげて社会貢献活動を実践していきます。

ワタミグループは、社会貢献活動やボランティア活動とは「何かをしてあげることではなく、何かをさせていただくことにより学び、感動し、結果として成長させていただくこと」だと考え、社員一人ひとりが、自発的・継続的に社会貢献活動を行うことを推奨しています。

活動は、「グローバル&ローカル」を基本に、地球規模の視点で捉え、かつ地域密着型で実践、推進し、「できるところからコツコツ」という考えのもと、「無理をせず、確実に継続すること」を重視しています。

「ボランティア研修」の実施

ワタミグループは、1994年度に、新入社員が地域の作業所を訪問し、ボランティア活動を行うプログラムを導入しました。以降、新入社員の「入社時研修」の一環として、毎年4月に「ボランティア研修」を実施しています。

「ボランティア研修」とは、障がい者福祉施設や児童福祉施設を訪問させていただき、ボランティアを通じて「相手の立場に立ち、相手がしてほしいことをすると、ということなのか」を学ばせていただくことを目的としています。

訪問した社員は、職員の方に教わり、障がいをもった方と一緒に作業を行ったり、交流を図りながら一日を過ごします。

2013年度は、55の施設に受け入れていただき、新入社員213名が参加しました。



ボランティア研修

福祉施設開催のバザーへの参加

ワタミグループは、1995年度に福祉施設開催のバザーに屋台を出店して以降、継続的にバザーやお祭りに参加しています。外食事業で培ったノウハウを活かして、お好み焼き、焼きそば、焼き鳥などを販売させていただき、その売上金を施設に寄付させていただいています。

2012年度は、約20回、合計約200名の社員が、バザーに参加しました。



「ワタミふれあいカード」からの寄附

ワタミグループは、1996年度より「未来の子どもたちのために」をテーマに「ワタミふれあいカード(クレジットカード)」を発行しており、国内ワタミグループ外食店舗での利用総額の1%相当を社会貢献活動を行う団体に寄附させていただいています。

2012年度は、ご利用総額306,268千円の1%相当となる4,345千円を公益財団法人 School Aid Japanに寄附させていただきました。



お食事会の開催

ワタミグループは、1999年度より、ハンディキャップがあるなど社会参加の少ない方を外食店舗にご招待し、「お食事会を通じた交流会」を開催しています。嚥下障がいのある方には、ソフト食を提供させていただいています。

この活動を通して、サービスの原点であるホスピタリティを学び、「相手の喜びを自分の喜びに変える」ことを実感できる機会をいただいています。

2012年度は、お食事会を45回行い、628名の社員がボランティアとして参加しました。



授産品代行販売

ワタミグループは、1999年度より、障がいをもった方々の社会参加の後押しを目的に、一部の外食店舗にショーケースを設置し、「授産品」(*)の販路を広げるお手伝いをさせていただいています。

2012年度は、282,615円を代行販売させていただきました。2013年8月末現在は、JAPANESE DINING「和民」3店舗と、ごちそう厨房「饗の屋」全店で代行販売させていただいています。

また、2005年度より、定時株主総会で授産品を販売するスペースを用意させていただいています。2013年度の株主総会では、14施設の方に参加していただきました。

(※) 授産品とは：障がいのある方が、自立した生活を営めるよう、障がい者福祉施設などでは作業訓練が行われており、授産品はそうした作業訓練の一環として、障がいのある方が製作した製品。



株主総会での授産品販売の様子

わたみ北海道自然学校の開催

ワタミグループは、1999年度より毎年夏季に、小学校4～6年生を対象としたふれあいイベント「わたみ北海道自然学校」を開催しています。

この学校は、「命、自然、友だち、生活習慣、夢との出会い」をテーマに、子どもたちのもと「思いやり、誠実さ、謙虚さ、感謝の心、素直さ」など、「人間が本来もっている美しい資質」を高める「きっかけ」を提供したいとの思いで行っているイベントです。

参加した子どもたちには、ハイキングやワタミファームでの野菜収穫、海洋スポーツなどを体験してもらいます。また、将来の夢について考え、「夢作文」を書くことを学校の目標としており、一人ひとり、作文を発表する時間を設けています。

第15回目となる2013年度は、北海道久遠郡せたな町役場の方々のご協力のもと、せたな町にて、8月7日～10日の3泊4日で開催しました。子どもたち36名と、スタッフとして、ワタミグループ社員や自然学校の参加経験者、計16名が参加しました。



第15回わたみ北海道自然学校集合写真(ワタミファーム瀬棚農場にて)

第15回わたみ北海道自然学校に参加した、小学5年 曾我部 隆伍君の作文を紹介いたします。

僕の夢

ぼくは、大人になったらまんが家になって色々な人をおどかせたり笑わせたり感動させたいです。

まんが家になりたいと思ったきっかけは、ぼくは小さいころから「ONE PIECE」が好きで読んでいたうちに作者の尾田栄一郎さんにあこがれていきました。

そしてぼくはいつの間にか

「まんが家になりたい」

という夢を持っていました。もともとぼくは絵を書くのが大好きだったので「まんが家」という夢をもってとても良かったと思います。夢をお父さんとお母さんに言うと、「隆伍は絵がうまいから良いんじゃない。」と言って大賛成してくれました。

そうしてぼくは、お父さんと一緒に絵やストーリーを作る練習をやりました。

そして10年後、20年後でも夢がかなったとき、ぼくはお父さんとお母さんに

「ぼくの夢に賛成してくれてありがとう。」

「ぼくの夢をおしてくれてありがとう。」

「ぼくを生んでくれてありがとう。」

と言いたいです。

これからもあきらめずに少しずつ努力をして自分の夢がかなうようにがんばりたいと思います。



「夢作文」を書く子どもたち

農業インターンシップの開催

ワタミグループは、1999年度より、大学生を対象に「農業インターンシップ」を実施しています。農協や農家の方のご協力をいただきながら、大学生に約2週間ほど北海道に滞在していただき、農家の方の収穫補助を体験していただきます。日本の農業に対する理解の促進や、若者に「働くこと」「農業」「自然」「仲間」と向き合う機会を提供することが目的です。

2013年度は、8月から9月にかけて3回開催し、(有)当麻グリーンライフや帯広大正農協をはじめ、25戸の農家の方々のご協力を得て、農産物の収穫や箱詰め作業などの農作業を、61名の大学生に体験していただきました。



ワタミファームでの学生や法人の受け入れ

ワタミファームは、2004年度より、有機農業への理解促進などを目的として、学生や法人の受け入れを行っています。2012年度は、ワタミファーム瀬棚エリア、千葉北総エリア、白浜農場、東御農場にて、それぞれ受け入れを行いました。

□瀬棚エリア

学校法人都文館夢学園中学2年生の修学旅行の一環として、「命の循環」をテーマに、播種、搾乳、と殺、乳製品の加工などを164名の学生に体験していただきました。

□千葉北総エリア

佐原農場で、5名の大学生をインターン生として受け入れました。

□白浜農場

白浜小学校3年生の農業体験として、2012年5月から9月にかけて、オクラの播種、除草、収穫、給食のメニュー化までを体験していただきました。また、2012年10月から2013年1月にかけては、大根の播種、除草、収穫、給食のメニュー化までを体験していただきました。

□東御農場

学校法人都文館夢学園が行っている「夢宿舎」の一環として、自然環境や食に対する関心を高めてもらうことを目的に、中学生・高校生に、播種、収穫などの農作業を体験していただきました。



白浜農場での農業体験

国内・海外での取り組み

介護ボランティアの実施

ワタミグループは、2006年度より、主に外食事業の社員を対象として、ワタミの介護の介護施設で行う「介護ボランティア」を行っています。「介護ボランティア」では、介護施設で行われるキャラバンイベントやアクティビティに参加したり、ご入居様のお食事にご一緒させていただいています。

2012年度は15名の社員が参加しました。

児童養護施設の子どもの受け入れ

ワタミグループは、2013年8月、NPO法人ブリッジフォースマイル様(以下、ブリッジフォースマイル様)(※1)が行う「ジョブプラクティス」(※2)に協力し、6つの児童養護施設の中学生、高校生、計10名を受け入れ、ワタミグループ外食店舗で職業体験を行っていただきました。

当日は、ワタミグループ社員が、仕事の説明や、接客のトレーニングを行い、実際にオーダーの受注、商品の提供などの仕事を体験していただきました。ワタミグループからは、5名の社員が参加しました。

※1:ブリッジフォースマイル様は、児童養護施設に入所した子どもたちが、安心して社会に巣立ち、夢と希望を持って笑顔で暮らせる環境を作ることを目指し、活動している団体です。
 ※2:「ジョブプラクティス」は、ブリッジフォースマイル様が独自に行っている活動で、子どもたちが施設から退所したあとに、自立して社会生活ができるようになることを目指して行われています。企業で働く人々と接することで、児童養護施設の中学生、高校生に働くことに対するイメージを高めてもらうことを目的としています。



商品について説明をする様子

オーダーの受注を体験していただく様子

ボランティアに参加した社員の感想

【ボランティア研修に参加した新入社員】

障がいを持っている子ども、持っていない子ども、皆同じように喜怒哀楽があるし、一日一日を精一杯生きていて、もっと障がいを持っている方たちを、身近に感じる社会が当たり前になればいいなと思いました。

【バザーに参加した社員】

障がいを持った方が施設の方に付き添われて買いに来ることも多く、障がいを持った方とコミュニケーションをとることができました。そういう関わりを持てる機会に参加できて、よかったですと思いました。

【お食事に参加した社員】

障がいを持つ方と一緒に楽しむ中で、どのように接したらお客様に喜んでいただけるか、どのような気持ちで料理を待っているかが分かったので、今後の営業に活かしていきたいです。

海外での取り組み

□ボランティア活動

海外では、ワタミインターナショナルが主導して、積極的に社員のボランティア活動を支援しています。

お食事会を通じた交流会の開催や、老人養護施設への訪問、海岸・公園での清掃活動など、社員が積極的にボランティアに参加できるような機会を設けています。

2012年度は、1,859名の社員がボランティア活動に参加しました。



老人養護施設への訪問



清掃活動

□ワタミふれあいカードからの寄附

ワタミグループは、国内と同様、海外でも「ワタミふれあいカード」を発行しており、ご利用金額の一部を社会貢献に使用させていただいています。

和民(中国)有限公司、和民餐飲(深圳)有限公司は、香港、深圳のワタミグループ外食店舗でのご利用総額のうち0.25%相当を社会貢献活動を行う団体へ寄附しています。

台湾和民餐飲股份有限公司は、2005年11月の開店当初よりワタミふれあいカードを導入しており、台湾のワタミグループ外食店舗でのご利用総額の1%相当を社会貢献活動を行う団体へ寄附しています。



香港・深圳で発行しているカード

台湾で発行しているカード

□ワタミインターナショナルは、国内と同様、公益財団法人SAJの活動を支援しています。

地域での取り組み

地域イベントへの参加

ワタミグループ本社が所在する大田区羽田地区では、社員を中心として、町内で開催されるイベントに参加させていただいています。月1回の駅前清掃、年1回行われる「スポーツGOMI拾い大会」には継続して参加させていただいており、また、2012年11月には、羽田地区の20の町内会が集結して開催された、初めてのお祭り「第一回ふれあいまつり」に、お好み焼きの屋台を出店させていただきました。

今後も、地元へ根ざす企業として、地域の方々と交流を深めていきます。また、各事業拠点においても、町内会とのつながりを大切に、地域に密着した企業活動の展開を目指します。



「第一回ふれあいまつり」への出店

「自然体験ツアー」への協力

ワタミグループは、2011年度より、青少年対策羽田地区委員会主催の「自然体験ツアー」に協力させていただいています。

2012年度は、「自然体験ツアー」に参加した30名の小学生に、ワタミファーム山武農場で有機野菜の収穫を体験していただきました。また、NPO法人Return to Forest Lifeの協力のもと、ワタミの森で植樹や間伐など、森林再生活動も体験していただきました。



間伐を体験していただく様子

地域清掃・美化活動への参加

ワタミグループは、各事業拠点周辺の清掃を行うことはもちろん、地域清掃を行っている団体の活動に参加させていただいています。

WTMDは、ワタミ手づくり厨房付近の清掃や、研修が行われる際には定期的にワタミグループ本社ビルの前の清掃を行っています。

ワタミファームは、地域の方々と共有スペースの除草作業などに積極的に参加させていただいています。

「エコフェスタ ワンダーランド」への参加

ワタミグループは、子どもたちが環境について考えるきっかけづくりとして大田区が毎年開催している「エコフェスタ ワンダーランド」に継続して参加させていただいています。

2012年度は、「有機おでんの試食」、「環境4択クイズ」、「ワタミの森の木で工作体験」の3つのブースを出展しました。

社員向けSAJ・カンボジア視察ツアーの開催

ワタミグループは、2011年6月より、ワタミグループ社員を対象とした「社員向けSAJ・カンボジア視察ツアー」を毎年2回ずつ開催しています。ワタミグループが支援する公益財団法人SAJの活動に対する理解を深めてもらい、参加した社員が自らの言葉でSAJの活動を伝えていくことによって関心の輪を広げていくことが目的です。ツアーでは、カンボジアの現状や過去の歴史に触れるとともに、SAJが運営する孤児院や農場(SAJ Farm)への訪問、SAJが建設した学校での学習や、朝食の見学を行いました。

2012年度は、69名が参加しました。今後も1年に2回、継続してこのツアーを開催していきます。

⇒公益財団法人SAJについては、本書のP52-53をご覧ください。



SAJ Farmにて、レモングラスを植える様子



孤児院「夢追う子どもたちの家」で説明を受ける様子